



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月27日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4506 URL <http://www.ds-pharma.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世
 問合せ先責任者 (役職名) シニアコミュニケーションオフィサー (氏名) 樋口 敦子 (TEL) 03-5159-3300
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	103,488	5.5	14,555	227.7	12,685	168.4	8,366	40.8
28年3月期第1四半期	98,128	9.3	4,442	△48.9	4,726	△50.5	5,941	3.2

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期△17,254百万円(—%) 28年3月期第1四半期 13,737百万円(811.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	21.06	—
28年3月期第1四半期	14.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	658,087	425,835	64.7
28年3月期	707,715	446,472	63.1

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 425,835百万円 28年3月期 446,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	199,000	0.0	16,000	△5.0	16,000	△8.6	8,000	△39.5	20.14
通期	410,000	1.7	40,000	8.3	40,000	13.6	25,000	1.2	62.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は添付資料P.3「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料P.3「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期1Q	397,900,154株	28年3月期	397,900,154株
29年3月期1Q	599,093株	28年3月期	598,599株
29年3月期1Q	397,301,155株	28年3月期1Q	397,303,386株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成28年7月27日 (水) に機関投資家・アナリスト向けに、第1四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。このカンファレンスコールで配布する資料等については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高は、日本セグメントでは、戦略品である高血圧症治療剤「アイミクス」やパーキンソン病治療剤「トレリーフ」等の売上は拡大しましたが、薬価改定や長期収載品の売上減少の影響により減収となりました。一方、北米セグメントでは、非定型抗精神病薬「ラツダ」を中心に、引き続き堅調に売上が拡大し増収となりました。これらの結果、連結合計では1,034億88百万円（前年同期比5.5%増）となりました。営業利益は、売上原価率の低下に加え、販売費及び一般管理費が円高の影響等により減少した結果、145億55百万円（同227.7%増）と大幅な増益となりました。また、経常利益は126億85百万円（同168.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は83億66百万円（同40.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

「アイミクス」、「トレリーフ」および非定型抗精神病薬「ロナセン」の戦略品3剤や新製品の販売拡大に注力しましたが、薬価改定や長期収載品の売上減少の影響等を補うには至らず、売上高は360億23百万円（同5.6%減）となりました。セグメント利益は、薬価改定による売上総利益の減少の影響が大きく111億30百万円（同11.6%減）となりました。

② 北米

「ラツダ」に加え、抗てんかん剤「アプティオム」および長時間作用型β作動薬「プロバナ」の売上が順調に伸長したことにより、売上高は472億81百万円（同11.7%増）となりました。セグメント利益は、売上増加に加え、販売費及び一般管理費が円高の影響等により減少したため、181億2百万円（同90.5%増）となりました。

③ 中国

主力品であるカルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」の売上が堅調に推移したことから、売上高は48億2百万円（同5.2%増）、セグメント利益は24億80百万円（同50.4%増）となりました。

④ 海外その他

「メロペン」の輸出が増加したこと等により、売上高は43億17百万円（同56.7%増）、セグメント利益は15億57百万円（同392.7%増）となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は110億63百万円（同7.1%増）、セグメント利益は6億16百万円（同25.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、流動資産は、現金及び預金が増加しましたが、有価証券や短期貸付金の減少等により、前期末に比べ328億98百万円減少しました。固定資産は、減価償却や為替換算の影響により、前期末に比べ167億28百万円減少しました。これらの結果、総資産は前期末に比べ496億27百万円減少し、6,580億87百万円となりました。

負債については、未払法人税等や未払金が大きく減少したため、前期末に比べ289億90百万円減少し、2,322億52百万円となりました。

純資産については、利益剰余金は増加しましたが、為替換算調整勘定が大きく減少したことから、前期末に比べ206億36百万円減少し、4,258億35百万円となりました。

なお、当四半期末の自己資本比率は64.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成28年5月11日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金及びその他の包括利益累計額に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が193百万円、利益剰余金が385百万円増加し、その他有価証券評価差額金が192百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,922	76,925
受取手形及び売掛金	107,165	107,092
有価証券	81,039	40,947
商品及び製品	48,100	39,831
仕掛品	3,206	4,177
原材料及び貯蔵品	8,281	10,639
繰延税金資産	63,991	64,149
短期貸付金	48,426	36,036
その他	6,454	8,890
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	421,584	388,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	95,279	94,852
減価償却累計額及び減損損失累計額	△54,944	△55,348
建物及び構築物（純額）	40,335	39,503
機械装置及び運搬具	79,734	79,794
減価償却累計額及び減損損失累計額	△71,937	△72,161
機械装置及び運搬具（純額）	7,796	7,632
土地	6,269	6,236
建設仮勘定	1,497	1,159
その他	33,498	32,975
減価償却累計額及び減損損失累計額	△27,572	△27,395
その他（純額）	5,926	5,579
有形固定資産合計	61,824	60,111
無形固定資産		
のれん	76,950	69,119
仕掛研究開発	60,144	54,985
その他	19,485	17,609
無形固定資産合計	156,580	141,714
投資その他の資産		
投資有価証券	60,432	60,237
退職給付に係る資産	66	40
繰延税金資産	2,313	2,411
その他	4,953	4,917
貸倒引当金	△40	△29
投資その他の資産合計	67,725	67,576
固定資産合計	286,130	269,401
資産合計	707,715	658,087

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,153	14,369
短期借入金	1,010	922
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	12,000	12,000
未払法人税等	26,357	6,825
賞与引当金	10,809	5,718
返品調整引当金	9,086	7,877
売上割戻引当金	49,224	47,545
未払金	34,212	28,375
その他	14,869	21,330
流動負債合計	179,722	154,965
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	8,000	8,000
繰延税金負債	16,209	14,738
退職給付に係る負債	16,158	16,122
その他	21,152	18,426
固定負債合計	81,520	77,286
負債合計	261,242	232,252
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	341,401	346,578
自己株式	△663	△664
株主資本合計	378,999	384,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,293	24,904
繰延ヘッジ損益	△12	△143
為替換算調整勘定	48,025	22,676
退職給付に係る調整累計額	△5,832	△5,777
その他の包括利益累計額合計	67,473	41,660
純資産合計	446,472	425,835
負債純資産合計	707,715	658,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	98,128	103,488
売上原価	26,344	23,929
売上総利益	71,783	79,558
返品調整引当金戻入額	—	6
返品調整引当金繰入額	10	—
差引売上総利益	71,773	79,565
販売費及び一般管理費		
給料	10,281	10,069
賞与引当金繰入額	2,993	3,042
退職給付費用	1,231	1,204
研究開発費	20,108	19,339
その他	32,717	31,354
販売費及び一般管理費合計	67,331	65,010
営業利益	4,442	14,555
営業外収益		
受取利息	117	230
受取配当金	639	693
その他	108	75
営業外収益合計	865	999
営業外費用		
支払利息	234	167
為替差損	125	2,512
その他	222	189
営業外費用合計	581	2,869
経常利益	4,726	12,685
特別利益		
投資有価証券売却益	6,004	—
特別利益合計	6,004	—
特別損失		
減損損失	153	—
特別損失合計	153	—
税金等調整前四半期純利益	10,576	12,685
法人税等	4,635	4,318
四半期純利益	5,941	8,366
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,941	8,366

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	5,941	8,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,720	△196
繰延ヘッジ損益	21	△130
為替換算調整勘定	5,921	△25,348
退職給付に係る調整額	132	54
その他の包括利益合計	7,795	△25,620
四半期包括利益	13,737	△17,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,737	△17,254
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	38,158	42,321	4,565	2,755	87,800	10,327	98,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	—	—	—	10	18	29
計	38,168	42,321	4,565	2,755	87,811	10,346	98,157
セグメント利益	12,589	9,501	1,649	316	24,055	492	24,548

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	24,055
「その他」の区分の利益	492
研究開発費(注)	△20,108
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益計算書の営業利益	4,442

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「北米」セグメントにおいて、将来の収益性がないと判断した仕掛研究開発について、回収可能性を評価し、153百万円を減損損失に計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,023	47,281	4,802	4,317	92,424	11,063	103,488
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	13	13
計	36,023	47,281	4,802	4,317	92,424	11,077	103,502
セグメント利益	11,130	18,102	2,480	1,557	33,271	616	33,888

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	33,271
「その他」の区分の利益	616
研究開発費(注)	△19,339
セグメント間取引消去	7
四半期連結損益計算書の営業利益	14,555

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。